

# 要 請 書

令和元年 6 月

沖 縄 県



環 保 第 1 7 8 号  
令 和 元 年 6 月 1 3 日

在日米軍司令官  
ケビン B. シュナイダー 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



有機フッ素化合物対策の実施について（要請）

平素より、沖縄県の環境行政及び水道行政に御協力いただき感謝申し上げます。

さて、近年、沖縄県環境部及び企業局の調査では、普天間飛行場周辺の湧水等や嘉手納飛行場に隣接する河川等から高濃度の有機フッ素化合物（PFOS、PFOA及びPFHxS。以下「PFOS等」という。）が検出されています。他方、天願川においても、高濃度のPFOS等が検出されており、沖縄県民が深く憂慮しているところです。

これまでの調査結果により、嘉手納飛行場に隣接する河川等のPFOS等の汚染については嘉手納飛行場が、普天間飛行場周辺の湧水等のPFOS等の汚染については普天間飛行場が汚染源である可能性が高いと考えております。

PFOS等が検出された河川・湧水等は、水道水源や地域の憩いの場等として利用されており、PFOS等は難分解性であるため、その汚染は長期間に及ぶことが懸念されることから、これらの河川・湧水等を利用する人々はもとより県民全体の不安は大きなものとなっております。

この問題を解決するためには、汚染原因を究明し、必要な対策の早急な実施が重要であると考えております。

つきましては、下記のとおり要請します。

記

- 1 米軍基地内においてPFOS等を使用しないこと。
- 2 嘉手納飛行場周辺の河川等及び普天間飛行場周辺の湧水等で高濃度で検出されたPFOS等の汚染源の特定のために行う両飛行場への沖縄県職員等の立ち入り及び両飛行場内の水や土壌などの採取を許可すること。
- 3 沖縄嘉手納空軍基地第18施設群で実施した文献調査の結果を速やかに沖縄県へ提供すること。

- 4 嘉手納飛行場及び普天間飛行場において、過去に訓練等でPFOS等を含む製品の使用履歴（種類、時期、量、場所）を沖縄県に情報提供すること。
- 5 在沖米軍による嘉手納飛行場及び普天間飛行場の調査の実施、及び汚染が確認された場合は適切な対策を講じること。